



学校だより 11月

“桜川 学びのエリア：桜川中・桜川小”

令和7年10月31日
板橋区立桜川小学校
No.7

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から

校長 八代 麻子

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。この調査は、全国の小学6年生と中学3年生が対象です。6年生は、前年度（5年生）までに身に付けておくべき学習内容の定着度を測るものといえます。今年度は国語・算数・理科の3教科で行われました。本校は、3教科の全ての観点・領域で、東京都や全国の平均正答率を上回る結果でした。詳細は、以下のとおりです。

【国語】

平均正答率	桜川小	東京都（公立）	全国（公立）
	73.0%	70.0%	66.8%

		桜川小	東京都（公立）	全国（公立）
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	81.9%	77.9%	76.9%
	情報の扱い方に関する事項	68.5%	66.9%	63.1%
	我が国の言語文化に関する事項	85.2%	83.8%	81.2%
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	73.8%	69.9%	66.3%
	書くこと	75.9%	72.4%	69.5%
	読むこと	64.8%	61.0%	57.5%

課題であった「記述式」問題に関しては、東京都・全国の前年度より6.4%上回りました。一方、事実と感想、意見などとの関係から要旨を把握したり、目的に応じて、必要な情報を見付けたりする問題は選択式でしたが、無解答率が東京都・全国よりも高い結果でした。

【算数】



		桜川小	東京都（公立）	全国（公立）
平均正答率		69.0%	64.0%	58.0%
領域	数と計算	74.4%	68.3%	62.3%
	図形	65.5%	61.2%	56.2%
	変化と関係	69.4%	64.9%	57.5%
	データの活用	73.9%	67.6%	62.6%

算数においても「記述式」問題に関して、全国・東京都の前年度より8.6%上回りました。

【理科】

平均正答率	桜川小	東京都（公立）	全国（公立）
	69.0%	60.0%	57.1%

		桜川小	東京都（公立）	全国（公立）
A 区分	「エネルギー」を柱とする領域	57.6%	49.9%	46.7%
	「粒子」を柱とする領域	65.7%	53.7%	51.4%
B 区分	「生命」を柱とする領域	70.1%	54.1%	52.0%
	「地球」を柱とする領域	74.1%	69.1%	66.7%

理科においても「記述式」問題に関して、全国・東京都の前年度より9%上回りました。

【今後に向けて】

調査を受ける子どもたちも出題内容も毎年変わりますので、昨年度の結果と単純比較することはできませんが、今年度、顕著だったのは「無解答率が低くなったこと」です。自分なりの答えが導き出せるよう、諦めずにじっくりと問題に取り組む姿勢は、今後とも続けてほしいと思います。

今回の調査結果に限らず、教員も日頃から、子どもたちに「学習内容のポイントを押さえているか・じっくり考える時間を確保しているか・落ち着いて学習し、学び合い・高め合いができる環境を整えているか」といった観点で、自身の指導・支援の仕方を改めて振り返り、改善していくことが必要です。授業力だけでなく対応力も向上させるべく、チーム桜川で取り組んでまいります。